

令和4年度「美術I」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
美術I	選択	2	共通
教科書 副教材等	高校生の美術1（日本文教出版）		

1 学習目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深めることを目指しています。

2 学習概要

まず初めに、目で観て、頭で考え、手で表現するデッサンの基本を学びます。ぼんやりしては見えない「観ること」の大切さを学びます。その後、大きく分けて、ファインアート分野（純粋美術）とデザイン分野、映像表現をバランス良く学習します。最後に、協働で制作するデザインワークを体験します。

ファインアートでは、歪んだ世界（鉛筆画）、油絵の制作などを行い、西洋の文化やものの見方を学び、感性をはっきりと技術習得していきます。デザインでは、コラージュ技法や色彩理論を学び、思考力に重きをおいたものづくりを展開します。映像表現では、古今東西の優れた映像の鑑賞と、絵コンテ作成による映像の構想方法を学びます。3学期には、班編制をして『架空の美術展の企画』を経験し、実社会でも生かせるアートとプレゼンテーションの手法も学びます。全体として、文化的な素養を身につけ、美術の楽しさを十分に味わえる課題を設定し、変化に富んだ創作活動ができるよう考えています。

3 学習方法

美術の学習は、主として作品制作をとおして行います。ものをつくる行為は、結果だけでなくその過程にも意味があります。試行錯誤し悩みながらつくった作品は、巧拙にかかわらず十分魅力を放つことができるでしょう。良いものを作ろうと粘り強さを発揮した作品は、自らの分身のように愛おしく感じるでしょう。そして、結果として自分自身がどんな力を獲得できたか検証することが大切で、その力を実生活に活用するつもりで学習してほしいと思います。さらに、日本文化の奥深さに気づき、諸外国の美術にも興味を広げ、文化的な教養を身につけることも気にとめておいてください。

4 評価について

(1) 評価方法

評価は、制作物および制作中の態度などを総合して行います。作品提出、ワークシートなどの採点項目は年間で15項目程度あります。定期考査は行いません。評価の方法は、題材ごとに「知識・技能(①)」、「思考・判断・表現(②)」、「主体的に学習に取り組む態度(③)」の3観点を念頭に行います。

(2) 評価規準

	知識・技能(①)	思考・判断・表現(②)	主体的に学習に取り組む態度(③)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</li> <li>創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。</li> </ul>	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい(内容のまとめりごと)	考査等
一学期	オリエンテーション  ・鉛筆の技法 古典絵画技法・ハッチング	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校で美術を学ぶ意味を理解し、年間の授業計画を知る。</li> <li>美術での ChromeBook の利用方法について知る。</li> <li>鉛筆による多様な技法を習得する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① デッサン用鉛筆の削り方の練習</li> <li>② ハッチング技法を習得</li> </ul> </li> </ul>	ワークシート  作品提出

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歪んだ世界 (デッサン) 座標変形による異空間の表現</li> <li>・CDジャケットのデザイン コラージュ技法</li> </ul>	<p>③ 立体表現、立方体、球体の陰影表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シュールレアリスムの画家たちの表現を知る。</li> <li>・意図した表現効果を考える。</li> <li>・変容した空間の魅力を感じ、互いに感想を述べる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの内面世界をコラージュ技法で表現する。</li> <li>・素材や色、レイアウトの工夫をして制作する。</li> </ul>	<p>作品提出</p> <p>作品提出</p>
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像表現 I</li> <li>・油絵の魅力 静物画の制作</li> <li>・映像表現 II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代と映画黎明期の映像を比較鑑賞し、今日の映像文化の果す役割について考える。</li> <li>・油絵の制作をとおして、西洋の物の見方、考え方を体験します。</li> <li>・油絵技法の特徴を生かした絵画技法を学びます。</li> <li>・絵画制作をする中で物を『見る』ことの重要性に気づくことをねらいとする。</li> <li>・絵コンテを作成することにより、映像表現のシナリオを考えさせる。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>作品提出</p> <p>作品提出</p>
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術展を企画する</li> <li>・制作のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班編成による共同制作で、自分が行ってみたい特色ある美術展について構想し制作する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・班で美術展のポスターを制作する。</li> <li>・班でパンフレットの制作をする。</li> </ul> </li> <li>・一年間の制作や鑑賞活動を振り返る。作品やワークシートをポートフォリオとしてまとめる。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>作品提出</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>ポートフォリオ</p>